

令和6年(2024年)度「極域複合科学概論」(教養講座として所内公開)

前学期: 木曜日2時限(10:45~12:15)・C401講義室 または オンライン 1単位

対象学年: 全学年

	テーマ	開講日	講師名	身分	題目
1	北極1・歴史・研究・国内外プロジェクト	5月16日	榎本浩之	特任教授	「北極圏:探検から地球環境研究のフロンティアへ」
2	北極2・地球温暖化	5月23日	末吉哲雄	特任教授	「古気候・温暖化と北極域の変化」
3	北極3・国際法	変更前:5月30日 変更後:7月18日	西本 健太郎	教授	「北極に関する国際制度の形成と展開」
4	南極1・科学:SCAR	6月13日	中村卓司	教授	「南極国際連携(1):科学研究:SCAR」
5	南極2・設営:COMNAP	6月20日	橋田元	教授	「南極国際連携(2):観測支援体制:COMNAPやDROMLANなど」
6	南極3・南極条約:歴史・全般	6月27日	伊村智	教授	「南極条約体制と南極観測・その展望」
7	両極1・データマネジメント	7月4日	金尾政紀	准教授	「両極の国際連携:研究データの管理公開と利活用」
8	両極2・現地観測	7月11日	青木輝夫	特任教授	「極域現地観測におけるリスクと利益」
	予備日:7月25日、8月1日				

授業の概要	本授業では、わが国が南極域、北極域で進めている科学観測のこれまでの歴史と現状、将来への展望について、科学研究面や設営的側面、環境保護の観点、社会生活との関係など、多角的な視点からの講義を行い、極域というユニークなフィールドで実施されている複合科学の全体像とその魅力を紹介する。
到達目標	我が国の南極、北極研究の概要、歴史、国際的背景、設営工学的特徴などを理解する。
成績評価方法	全体の6割以上の出席が単位取得条件。課題の理解度を評価する